

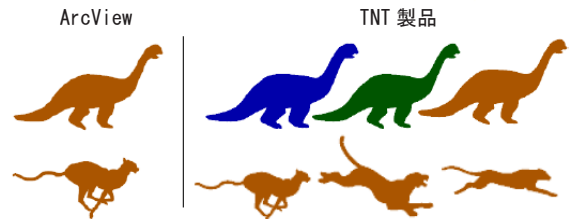
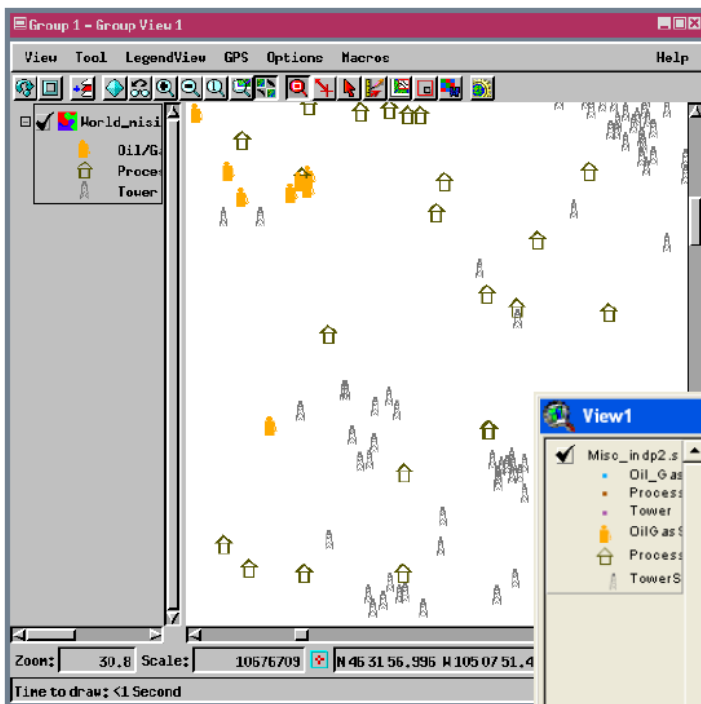
シェイプファイルへのシンボルの変換

TNT 製品の標準の描画ツールを使ってポイントやライン、ポリゴン、テキスト (TrueType を含む) を自由に組み合わせたシンボルを作成できます。選択したCADオブジェクトやCGMファイルから直接シンボルを作成することも可能です。シェイプファイルでは、これらのTNTシンボルタイプの大半がサポートされていません。TNT製品と同じように表示されるシェイプファイルへのエクスポート用ポイントシンボルを作成する場合は、シンボリエディタのテキストツールを使って、シンボルのデザインをTrueTypeフォントの記号から追加するようになさなければいけません。TrueTypeの記号をTNT製品で使用可能なシンボルに挿入するその他の方法としては、記号をテキストからポリゴンに変換する方法がありますが、編集はできてもシェイプファイルのシンボルとしては使用できません。

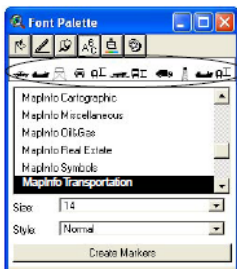
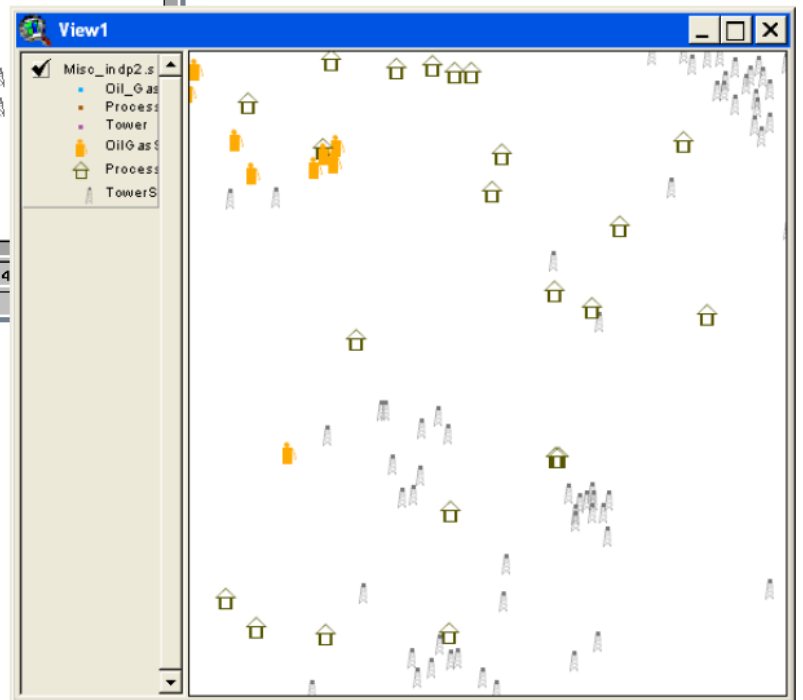
シェイプファイルへエクスポートできるシンボルを TNTmips で作成するには、

- TNTmips で使用しているフォントが、ArcView で使用できるものであることを確認し、
- [テキストの追加 (Add Text)] のみを使って、TrueType フォントからシンボルを作成します。

ESRI 社のシェイプファイルで使用できるシンボルは TrueType の記号に限定されますが、英数字に限定されているわけではなく、様々なシンボルフォントを使用することができます。全ての TrueType フォントが ArcView のフォントパレットで正しく表示されるわけではないので、必ず ESRI 社がサポートしているフォントを選ぶようにします。あなたのシンボルが (左下の図のように) サポートされていない TrueType フォントの場合、ArcView ではシンボルで表示されません。あなたのシンボルが、[テキストの追加] 以外の TNTmips のシンボル編集ツールで作成したものである場合、ArcView では (丸や四角といった) 標準のシンボルに置き換えられて表示されます。



TNTmips では、複数の字体を1つのシンボルの中に組み込むことが出来ます。右上の恐竜は、字体毎に異なる色を使ったシンボルです。その下の豹は、同じ色で1つの文字列として表したシンボルです。ただしエクスポート後は、ArcViewではその中の1つしか表示されません。



使用している ArcView でシンボル (マーカー) が表示されない場合、TNT で選んだフォントが ArcView で正しく解釈されているか確認

して下さい。右のフォントは TNT 製品では正しく表示されていますが、ArcView ではシンボルが作られず、使用してはいけません。ArcView GIS Ver. 3.1 でテストしました。